

Title	第四回早慶連合史學會；三田史學會例會報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	2009 - 1957
Jtitle	史学 Vol.29, No.4 (1957. 3) ,p.117(481)- 119(483)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19570300-0117

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

第四回早慶連合史學會

昭和三十一年一月一七日 於三田演説館

公開講演

アウグスティヌスと現代

近山 金次氏

十市皇女の生涯——壬申の亂の一斷面——

水野 祐氏

研究發表

中國古代の祭儀と假裝

伊藤 清司氏

宋學の社會性に關する一考察

鈴木 啓造氏

弘仁私記の註記に關する若干の考察

志水 正司氏

明治十年代後半に於ける民衆意識の動向

鹿野 政直氏

會終了後は學生ホールに於いて懇親會が催され多數の出席をみた。なお當日、福澤關係資料、反町家寄贈の武家古文書、並びに考古學關係資料を展示した。

三田史學會例會報告

第四四三回例會 昭和三十一年九月二十九日 於八番教室

侯景の亂についての一考察

竹田 龍兒氏

大友氏發祥の地に就いて

後藤 昭彦君

第四四四回例會 昭和三十一年一〇月二十四日 於二三番教室

藝術地理學序説

淺子勝二郎氏

マイネッケ史學の根柢についての一考察

米田 治氏

第四四五回例會 昭和三十一年十二月二日 於四〇番教室

日持上人と立化祖師

前嶋 信次氏

バロック様式の二重性

高橋 巖氏

第四四六回例會（卒業論文發表會）

昭和三十一年一月二五・二六日 於一二番教室

國 史

土偶の研究——主として土器形式による

横倉 友次君

編年に基づく土偶の分類——

尾ヶ井 甫君

神籠石の研究

尾ヶ井 甫君

常陸風土記に現われた蛇神説話

高松 義朗君

——夜刀神説話と晡時臥山説話——

高松 義朗君

藤原朝臣仲麻呂——上代律令政治史に於ける一斷面——

小野 茂君

古代史に於ける歸化氏族——秦氏の場合——

栗田 道江君

遣唐使廢止に關する一考察

井口 洋君

日本刀の形成時期について——特に様式變化の過程より

見たる上代外來文化固有化との關連に關する一考察——

吉田 康麿君

相撲の發達と故實について

松永 弘君

平將門の亂の研究

宮尾 光由君

藤原道長の信仰生活

菊池 好員君

平安朝末期の政治機構——道長以後の攝關家の衰退——

關谷 治英君

大友氏の發祥

後藤 昭彦君

鎌倉建築の後世に及ぼせる影響

田中 昭光君

成立期狂言に關する一考察——社會的基盤を中心として——

佐野 絹枝君

西芳寺上部庭園に關する一考察

芝端貢太郎君

會津藩蠟燭專賣制の特殊性

廣瀬 繼男君

日光史に於ける東照宮の位置

大類 康男君

大阪兩替商と大名貸

森實 達直君

享保の改革の性格について——その政治經濟史的

考察の一面——

小林 俊郎君

天保改革についての一考察

紫田 潤一君

松平慶永の行政について

千秋龜三雄君

公武合體運動——朝幕雄藩の動き——

江口 勉君

幕末茶貿易に關する一考察

吉川 成夫君

醬油醸造の發展史より見たる野田の特殊性 福山 秀爾君
マス・コミュニケーションから見た現代への歩み 野本 修敏君

東 洋 史

篋篋について——とくに中國—— 畠中 隆一君

古代アジアの網漁業——とくに日本に於ける

網漁業の發生と大陸文化との關係—— 可兒 弘明君

活禱蛇について

勝野源太郎君

北齊の漢人と文林館

尾崎 康君

ポルトガル人中國來航當初の問題についての若干の考察

河野 正人君

東西洋における香料

宮村 一男君

西 洋 史

ギリシヤ民族と文化の形成——テッサリヤ文化に於ける

二つの問題を中心として—— 山口 正道君

デモステネス——その歴史的價值とポリスに於ける

市民的自由の限界—— 野村 健二君

原始の家族形態についての一考察——古代ローマの

父家長的家族形態についての—— 宮本 和子君

クリュニーの修道院改革運動の意義についての一考察

富川 光男君

中世ロンドンに於ける商人階級とチェントルマン

齊藤 勉君

僧院解散の社會的結果

柴 安枝君

ドイツ・ルネサンスと若きデューラー

内海 弘子君

ペートーベンの歴史性に關する考察——社會、時代、

精神史的條件に於ける彼——

津田 榮子君

イギリス革命に於ける軍事問題——主として

New Model Army (一六四二—一九年)——

森 甲子男君

産業資本の成立に關する一考察

宇野 哲夫君

南北戦争直前に於ける南部の社會構造——特に中産階級

に關するヴァンダービルト學派の新研究の考察——

今 無畏子君

アメリカ植民地にみられるスコッチ・アイリッシュの勢力

大久保禎夫君

米西戦争の原因に關する考察

須藤貴美子君

第一次世界大戦に於けるアメリカの參戰の原因について

井上 宏道君

第一次大戦後の中國をめぐる日米外交の展開

小林 章君

ターナーのフロンティア學説の若干の考察

後藤 成文君

二十世紀初頭のアメリカ社會——國民生活の變貌と

その原因 (一九〇〇—三〇年) ——

嵯峨 泰子君

一九四一年の日米開戦の一考察——日米會談の經過

について——

柳 廣治君

インカ文明の特質について

中野 成章君